

令和3年度

神戸防災技術者の会（K-TEC）第16回総会（第200回定例会）

日時：令和3年6月22日（火）18時15分～

場所：まちづくり会館 2F ホール

総合司会：太田 敏一

I. 総会

◇時間：18時15分～18時30分

次第 1. 開会

2. 議長選出

3. 議案

第1号議案 役員の選任

第2号議案 令和2年度活動報告

第3号議案 令和2年度決算及び会計監査報告

第4号議案 令和3年度活動計画

第5号議案 令和3年度予算（案）

4. 令和2年度の主な活動

- ①「伝承活動をみんなで分かち合うための勉強会」を始める。（7回実施）
- ②『ifシリーズ』～もし今、災害が発生したら何が起き、どう動けばいいのか～の継続
- ③ 修学旅行等の受入れ―「神戸で学ぶ防災学習」の継続
- ④「神戸防災のつどい2021」でセミナーを開催

テーマ：「コロナ時代の避難を考える」 42名参加

5. 閉会

II. 記念講演

◇時間：18時30分～20時00分

演題：「防災教育を通して災害と向き合う」

講師：諏訪 清二 氏

プロフィール

防災学習アドバイザー・コラボレーター

特任教授 兵庫県立大学（大学院減災復興政策研究科）

非常勤講師 神戸学院大学現代社会学部 他

防災教育学会 会長、防災学習実践研究会 代表

- ・全国初の防災専門学科、兵庫県立舞子高校「環境防災科」の科長を12年間務めた。2017年度からはフリーで防災教育の普及に努める。
- ・これまで防災教育や災害ボランティア活動、「防災ジュニアリーダー育成講座」など、若者を支援する多くのイベントを企画、運営してきた。教育委員会、文科省などの防災教育関連の委員も多数歴任。「防災教育チャレンジプラン」「1.17 防災未来賞ぼうさい甲子園」の委員も創設当時からかかわっている。講演会、シンポジウムなどを通して防災教育を広げる活動を続けてきた。中国、ネパール、スリランカ、モンゴルなど、海外での防災教育普及にも従事している。

主な著書：「高校生、災害と向き合う」 岩波ジュニア新書 単著、

「防災教育の不思議な力」 岩波書店 単著

「防災教育のテッパン」 明石スクールユニフォームカンパニー 単著 他多数

残念ですが、講師の方を囲む3階での懇親会は新型コロナウイルスのため自粛します。

1、報告・連絡事項

(1)第 201 回 K-TEC 定例会の予定

- ◆日時：令和3年7月13日（火）18：30～ ◆場所：こうべまちづくり会館3階
- ◆テーマ：東日本大震災から10年を振り返る ～被災地の生活再建、街の復興 現状と課題を皆で語る～
(第2回)

前回できなかった、後半の部分を中心に意見交換します。

- (1) 被災の概要（福島の実状も含め）
- (2) 道路や鉄道の復旧に対する意見と課題、今後の活用について
(復興道路の建設・鉄道の復旧・BRT新設など)
- (3) 復興事業に対する意見や、今後の人口定着に向けて
(防災集団移転事業・復興区画整理事業・防潮堤建設)
- (4) 震災遺構の活用による次世代への教訓伝承の在り方
- (5) K-TECが行った支援は被災地に届いたか（神戸市の支援体制）
- (6) 福島復興に対する、今後のK-TECの対応
- (7) 南海トラフ巨大地震対応への教訓

(2)第8回「伝承活動をみんなで分かち合うための勉強会」

- ◆日時： 令和3年7月27日（火）18：30～ ◆場所：こうべまちづくり会館3階
- ◆テーマ：インフラの被災状況と復旧と災害対応改善(1)（道路の復旧・復興を中心に）

2、伝承活動

修学旅行等受け入れの状況

- ・R3. 9.15（水） 都立葛飾区立綾瀬中学校3年3クラス81名 まち歩き（ガイド6名）
他に9月の問い合わせが3件あります。

3、他団体の講演会など

(1)神戸大学都市安全研究センター オープンゼミナール 6月19日（土）14時～

- ◆会 場：オンライン開催（zoomウェビナー形式、ライブ動画視聴）
- ◆申 込：下記ページから、ライブ動画視聴申込を事前に行ってください。
https://zoom.us/webinar/register/WN_8Gaa4Kz3RdyBof7nNe2dUA
- ◆内容：① 災害の多様性と大学の防災チャレンジ

伊藤 康人 大阪府立大学大学院理学系研究科物理科学専攻教授

- ② 持続可能な地域の防災活動 ～フェーズフリーな防災対策～

秦 康範 山梨大学大学院総合研究部工学域土木環境工学系准教授

4、今後の定例会

- ・第201回（7月13日 司会 松下）「東日本大震災から10年を振り返る」
- ・第202回（8月10日 司会 浜）
- ・第203回（9月14日 司会 松岡）
- ・第204回（10月12日 司会 西）

令和3年度 神戸防災技術者の会 第16回 総会 議案書

第1号議案 役員を選任

- 役員 (規約第8条の規定により、役員は異動された幹事の中山氏(前任)⇒能勢氏(後任) 以外は令和2年度の役員を再任する)

【幹事】

青木利博、太田敏一、西 修、能勢正義(新任)、浜 尚美、松岡達郎、松下 眞

【監事】

松山雅洋、水口和彦

【会計】

倉橋正己

- その他

【幹事補佐】(全員再任)

衣川広美、田中亜矢子、田中幸夫、長野恵一、広脇 淳、若松謙一、渡辺一弘、

【事務局】(福田氏新任・増員)

片瀬範雄、倉橋正己、曾谷はなこ、仲田文人、福田敬正(新任)、(熊野 創)

第2号議案 令和2年度活動報告

令和2年度は新型コロナウイルス(以下、「新型コロナ」)感染が拡大し、緊急事態宣言が、1回目は4月7日～5月21日、2回目が令和3年1月14日～2月28日の期間で兵庫県にも出された。

この間、保健師さん(当会の会員にもなっている)など医療関係者の方々は大変過酷な状況の中で保健・医療活動が続いています。あらためて感謝するとともに、体調に留意されることを願っています。

新型コロナによりK-TECの活動は影響を受け、定例会は3回中止、伝承活動も神戸市を含む自治体、地域団体、修学旅行等の受け入れも激減した。

1. 定例会の開催

定例会の議題—主な項目は下記であり、各月の定例会の活動内容は資料—1。なお、12月の第196回定例会からはZOOMによるオンライン参加も可能になった(会員有志のZOOM研究会の成果です)。

- 1) ifシリーズ～もし今、災害が発生したら何が起き、どう動けばいいのか～(4回)
- 2) 神戸の災害に関する研究報告、東日本の情報(2回)
- 3) 復興事業の検証報告、まちづくり(2回)
- 4) クロスロード体験(1回)

2. 「伝承活動をみんなで分かち合うための勉強会」の実施

会員誰もが伝承活動ができるように、阪神・淡路大震災、水害の勉強をテーマごとに行っている。その詳細は資料—2。

3. 伝承活動

伝承等活動の詳細は資料—3に記載したとおり、8団体等からの依頼を受け、延25回、約1,012人に対して実施(修学旅行生、大学、おにぎりプログラム(平成元年度開始)を含む)。

実施にあたっては、関連団体である「NPO 都市災害に備える技術者の会」や「神戸クロスロード研究会」とコラボしながら伝承活動を実施した。

主な事項は下記の通り

1) 修学旅行生などの誘致と伝承活動

((一財)神戸観光局、(一財)神戸すまいまちづくり公社と共同で)

- ・小・中学、高校、大学の4団体に対し震災遺構まち歩きガイド、クロスロード、語り部の実施

2) 市民公開セミナー

- ・神戸防災のつどい 2021 でセミナーを開催

テーマ 「コロナ時代の避難を考える」

- ① 今、ふり返る あのときの「避難」と「避難所」 【田中亜矢子】
- ② 感染症（新型コロナ）の基礎知識 【衣川広美】
- ③ 最近の避難状況（神戸市の考え方、八代市の事例） 【中山徹】
- ④ これからの避難のあり方 【フロア意見交換～進行・西 修】

参加者一約 42 名（会場参加 14 名、ZOOM 参加 19 名、関係者 9 名）

3) 自治体、各種団体への伝承活動

- ①神戸市職員研修の新規採用職員研修は新型コロナにより、危機管理室で対応。
係長5年次研修は神戸クロスロード研究会とK-TECが参加予定だったが、次年度に延期された。
- ②神戸市消防局「BOKOMI サポーター」の認証団体の継続

4) 大学関係

- ①神戸学院大学 「阪神・淡路大震災研究」（平成 18 年度より講義）
- ②流通科学大学 「地域防災論」（平成 25 年度より講義）

5) K-TEC 内での自主研修

- ①ZOOM 研究会 定例会、セミナーで活用。

4. 各種団体との連携

「NPO 法人都市災害に備える技術者の会」や「神戸クロスロード研究会」と共同で伝承活動を実施

5. 土木学会関西支部「地域活動賞」の受賞決定

令和 2 年 11 月 4 日 土木学会関西支部 2020 年度地域活動賞選考委員会で受賞決定
表彰式 令和 3 年 5 月 21 日 新型コロナのため中止 表彰状のみ受領

6. その他

1) ホームページについて

ホームページURL <http://www.k-tec117.org>

会員専用ページのユーザー名とパスワードは事務局 (jimukyoku@k-tec117.sakura.ne.jp) に直接問い合わせしてください。

- ① 修学旅行生対応や各種団体への伝承活動をホームページにアップ
- ② ホームページの拡充が会員により実施されつつある

第 3 号議案 令和 2 年度決算及び会計監査報告

- ・令和 2 年度決算 資料－ 4
- ・令和 2 年度会計監査報告 資料－ 5

第 4 号議案 令和 3 年度活動計画

1. 定例会の開催

- ・毎月第 2 火曜日 18 時 15 分～20 時 50 分まで（まちセン体制縮小のため、延長は控える）
また、新型コロナ感染拡大による自粛のため 4 月・5 月は開催出来ず
- ・定例会のテーマは「if シリーズ」の実施（項目はメール会議の要望を含め）他、適宜
- ・メール会議での回答や提案を活かし、定例会の進め方の改善及び活動内容の見直しなど
- ・東日本大震災被災地関連やその他災害発生地などの情報の共有、発信、支援など
- ・定例会 200 回記念——200 回目にこだわらず、適時に行う。

講演者選定中（新型コロナ関係で調整難行）

2. 「伝承活動を皆で分かち合うための勉強会」

毎月第4火曜日に開催。テーマごとに関係者の資料作成をお願いします。

3. 伝承活動

1) 神戸市職員研修

- ①新規採用職員研修 : 4月の実施予定が新型コロナのため延期された。
- ②係長昇任5年次研修 : R3年6月頃実施予定が新型コロナのため延期された。
- ③一般職員研修 (検討事項)
 - ・職員研修の参加について、職員研修所や危機管理室と意見交換する

2) 大学生対象授業の講師派遣

- ①神戸学院大学 「阪神・淡路大震災研究」講師陣の派遣(音声パワポ+Zoom、資料配布で実施中)
- ②神戸流通科学大学 「地域防災論」、後期授業で講師陣の派遣予定
- ③インターンシップの受け入れ (神戸学院大学) 新型コロナの関係で今年度は無し

3) 修学旅行生への伝承活動の拡充

～阪神・淡路大震災の記憶を未来の防災へ～ 「神戸で学ぶ防災学習」

- ①(一財)神戸観光局、人と防災未来センター、ふたば学舎など修学旅行生受け入れ連絡会と協働して実施
- ②会員が何時でも誰でもガイドが出来るよう伝承内容や案内資料などの充実を図る
- ③新型コロナによる外出自粛要請の解除後、実施する(4~6月依頼分は延期中)

4) 講師の派遣

危機管理室や交流団体、地域団体、自治体、小・中学校などからの要請に応え、会員を講師として派遣する

K-TEC 内部研修会の実施(「伝承活動をみんなで分かち合うための勉強会」)

5) 講演資料の保存と活用

講演内容や資料について集積、保存を行い、会員相互の情報源となるよう整備する

6) ホームページの活用と発信

ホームページのブログ欄を活用し、各地の地域活動を発信し、減災活動の範囲拡大に努める

4. 東日本大震災など被災自治体支援のあり方の検討

新型コロナで活動が制限される中、令和3年度は被災自治体や被災者(特に原発事故被災地)などの交流のあり方について検討する

5. 他団体との連携強化

防災・減災活動団体との連携を深め、講習会の開催情報の発信・データ類の共有などを図り、会員のスキルアップ体制を強化する

6. 図書の発行

- ・調査報告書など活動記録の発行

7. 講演記録の保存

- ・会員が各種研修会で行った講演内容の記録を保存する
- ・ホームページへの活動内容のブログ投稿を通じて、活動内容の発信に努める
- ・ifシリーズの講演記録の作成(順次、HPの会員専用ページに掲載していく)

第5号議案 令和3年度予算(案)

- ・令和3年度予算(案) 資料-6

資料一1 【第2号議案関係】

令和2年度 神戸防災技術者の会 (K-TEC) 定例会 記録

回数	月・日	活動内容
	4月、5月	新型コロナウイルス緊急事態宣言発出中 (4月7日～5月21日) につき、活動自粛
第190回	6月9日	総会、記念講演 「六甲山の成り立ちに由来する、神戸で警戒すべき土砂災害」 講師 太田 英将 氏 (有) 太田ジオリサーチ 代表
第191回	7月14日	ifシリーズ第18回 「復興再開事業～六甲道駅南地区の場合」 倉橋 正己 (当時都市計画局垂水再開発事務局主幹, 4月から再開発課主幹、翌年六甲道南再開発事務所長)
第192回	8月11日	ifシリーズ第19回 「阪神・淡路大震災の給付事業について」 古川 厚夫 氏 (公益財団法人) 神戸市民文化振興財団 専務理事・事務局長 (当時：総務局職員部職員研修所、H7年4月以降：民生局 (部) 災害復旧部給付班)
第193回	9月8日	ifシリーズ第20回 「阪神・淡路大震災における神戸市の応急仮設住宅、復興住宅用地確保への取り組みと教訓」 徳永 康裕 氏 都市局都心再整備本部都心再整備部都心三宮再整備課用地・調査係 (当時：住宅局住宅部計画課用地係長)
第194回	10月13日	ifシリーズ第21回 「水道局の初動とその後への対応」 安藤 伸雄 元阪神水道企業団副企業長、元神戸市水道局参与 (当時：水道局業務課主幹 (給水担当) で応急給水の応援受け入れ担当)
第195回	11月10日	1、東日本被災地 復興の最新情報 水口 和彦 2、クロスロードを体験しよう 神戸クロスロード研究会 (柿本 雅通、西 修、浜 尚美、福田 敬正)
第196回	12月8日	「神戸旧居留地のまちづくり」 山本 俊貞 氏 (株) 地域問題研究所、まちづくりコンサルタント 旧居留地連絡協議会 顧問
第197回	1月12日	「神戸の災害と防災」 奥野 潔 建設局防災部防災課長
	2月9日	新型コロナウイルス緊急事態宣言発出中 (1月14日～2月28日) につき、活動自粛
第198回	3月9日	「新長田駅南地区再開発事業の検証について」 吉田 亮浩 氏 神戸市都市局担当部長 (再整備担当)

伝承活動をみんなで分かち合うための勉強会 実施記録

回	開催日	テーマ	詳細
第 1 回	2020.7.28	職員の動き	① 災害発生当日の職員の動き ②地震に対する認識 ③地域防災計画記載業務（震災時と現在の比較）④出動時の情報収集の有り方（IT対応など） ⑤災害対策本部の設置 ⑥職員の安否確認 ⑦地震発生時刻による対応の有り方
第 2 回	2020.8.25	地震の基礎知識、火災、救出	① 地震についての基礎知識 PPT ② 阪神・淡路大震災時の火災 ③ 阪神・淡路大震災時の救出活動
第 3 回	2020.9.29	直後の市民、犠牲者、避難所	① 被災直後の市民の動き ②犠牲者 ③避難所の様子 ④被災者支援・救援
第 4 回	2020.10.27	学校・児童生徒の様子、ボランティア、り災証明	① 震災直後の学校避難所の様子や児童・生徒の生活 ② ボランティアに支えられ ③り災証明書
第 5 回	2020.11.24	応急仮設住宅	① 仮設住宅とは ②県・市の分担 ③用地と戸数 ④入居手続き ⑤入居者支援 ⑥孤独死 ⑦維持管理 ⑧退去 ⑨海外送付 ⑩阪神淡路・大震災後の仮設住宅の様子
第 6 回	2020.12.22	災害廃棄物、自衛隊	災害廃棄物～①処分量の推計 ②国の対応 ③災害廃棄物等処理への取り組みと所要予算 ④解体作業の実施 ⑤撤去状況 ⑥廃棄物の仕分け・有効活用 ⑦東日本大震災被災 地での様子 ⑧水害における廃棄物の中間貯蔵場状況 ⑨得られた教訓等と活用状況 自衛隊～①陸上自衛隊の守備範囲 ②自衛隊の出動要請と救出・救命活動開始まで ③自衛隊の出動状況と支援内容 ④東日本大震災時の自衛隊による救出作業・遺体収容 ⑤阪神・淡路大震災の自衛隊派遣における課題と変更点
第 7 回	2021.3.23	「災害救助法」に基づく被災者支援、学校関係の復旧	災害救助法関係～①災害関連法令 ②災害救助法の制定と主な対応や改正事項 ③救助の内容と阪 神以降の変更など ④災害対策基本法の制定と位置づけ 学校関係の復旧～①被災の状況と復旧後の様子 ②震災直後の学校の混乱の様子 ③直後の公共建 築物の被災調査 ④文部省技術調査団による調査 ⑤公共建築物の耐震化の現 況 ⑥教育関係施設等修理事業計画 ⑦震災と学校の統廃合・跡地活用 他

資料-3 【第2号議案関係】 令和2年度 自治体・各種団体・大学等への伝承活動

月・日	研修名	対象者	受講者概数	場所又は内容	派遣者等
前期授業	神戸学院大学 阪神・淡路大震災研究 13回	神戸学院大 現代社会学部学生	延520名	神戸学院大学	松山、青木、松下、宮崎、
10～12月	神戸流通科学大学（大学連携）「地域防災論」5回	流通科学大総合政策部学生	延200名	神戸流通科学大学	中山徹、栗田、
10月30日	「おとな旅・神戸」遺構見学&クロスロード	応募された一般市民	8名	阪神高速震災資料 保管庫	西、片瀬
11月4日	灘区成徳小学校 社会科「わが町を知る」	成徳小学校6年生	160名	成徳小学校	倉橋
11月5日	羽曳野市立高鷲小学校	高鷲小学校6年生	70名	まち歩き	石井、倉橋、笹原、菅谷、田 谷、橋上、水口
11月22日	大学コンソーシアムひょうご神戸 防災研修	東北、兵庫県の応募学生	30名	まち歩き	仲田、田中亜、片瀬、倉橋
12月11日	宮本小学校（神戸っ子おにぎりプログラム）2回	5年生	62名	宮本小学校	橋本
1月17日	神戸防災のつどい2021でセミナー開催 「コロナ時代の避難を考える」	一般市民 （会場参加,ZOOM参加）	42名	神戸国際会館セミ ナーハウス802,803	西、田中亜、衣川、 中山徹、
	計 25回、 約1,012人	新型コロナウイルスによる活動自粛、キャンセルで、		伝承活動は極端に減少した。	

令和2年度修学旅行等の受け入れ状況

実施日	学校名	内容
キャンセル	R2.5.12 柏市立柏第2中学校	まち歩き
キャンセル	R2.8.19 神奈川県立川崎高等学校 定時制	まち歩き+クロスロード
キャンセル	R2.9.10 桑名市立陵成中学校	座学
キャンセル	R2.10.28 神奈川県立川崎高等学校 定時制	まち歩き+クロスロード
実施	R2.10.30 「おとな旅・神戸」阪神高速	見学+クロスロード
実施	R2.11.5 羽曳野市立高鷲小学校	まち歩き ガイド7名
キャンセル	R2.11.11 神奈川県立商工高等学校	未定
キャンセル	R2.12.3 四日市市西笹川中学校	座学、まち歩き、
実施	R2.11.22 大学コンソーシアムひょうご神戸	まち歩きガイド3名
実施	R2.12.22 宮本小学校（おにぎりプログラム）	座学
キャンセル	R3.1.13 神奈川県立生田高等学校	まち歩き
キャンセル	R3.1.21 福岡市立内浜中学校	まち歩き(2日に分けて)
キャンセル	R3.1.15 神奈川県立川崎高等学校 定時制	まち歩き+クロスロード
キャンセル	R3.1.24 埼玉県立秩父高等学校	まち歩きガイド10名
キャンセル	R3.3.7 東京都立南平高等学校	まち歩き+クロスロード
キャンセル	R3.3.15 埼玉県立和光国際高校	まち歩き
キャンセル	R3.3.15 長野市豊野高等専修学校	座学
キャンセル	R3.3.16 茨城県立水戸工業高校	まち歩き ガイド10名

資料-4 【第3号議案関係】

令和2年度 神戸防災技術者の会 決算報告
(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

収入の部

(単位:円)

	①R2予算	②R2決算	②-① 増減	概要
総収入	1,331,460	1,293,872	-37,588	
1、前年度よりの繰越金	1,086,460	1,086,460	0	
2、寄付金等(定例会他)	45,000	72,013	27,013	
3、伝承活動 修学旅行等学校関係	150,000	110,388	-39,612	小学、大学、一般 計4回
4、伝承活動 職員、自治体、地域団体等	50,000	0	-50,000	
5、その他の収入	0	25,011	25,011	県ボランティア活動助成金他

支出の部

	①R2予算	② R2決算	②-① 増減	概要
総支出	1,331,460	355,535	-975,925	
1、定例会等 開催経費、講師交通費等	50,000	20,552	-29,448	
2、伝承活動 修学旅行経費、出務者謝礼	75,000	99,337	24,337	出務者謝礼、ハンドフリースピーカー
3、伝承活動 学校以外地域団体等 同上	25,000	0	-25,000	
4、他都市等からの視察対応費	30,000	0	-30,000	
5、大災害被災地への義捐金	100,000	0	-100,000	
6、シンポジウム開催経費 記録作成費	200,000	30,377	-169,623	神戸防災のつどい2020開催費 他
7、大災害被災地視察&交流費	500,000	0	-500,000	
8、雑費、事務費	240,000	205,269	-34,731	ボランティア保険、ワークスペース使用料、インターネット経費、携帯電話契約 他
9、予備費	111,460	0	-111,460	

■令和3年度への繰越

$$1,293,872 - 355,535 = 938,337\text{円}$$

総収入 - 総支出 = R3への繰越

資料-5 【第3号議案関係】

令和2年度 神戸防災技術者の会 会計監査報告

令和2年度(令和2年4月1日～令和3年3月31日) 神戸防災技術者の会の会計について、諸帳票、収支決算書、預金通帳及び関係書類にもとづく監査をした結果、その内容が適切且つ正確に処理されていることを認めます。

令和3年 6月 7日

監事 松山 雅洋



監事 水口 和彦



資料-6 【第5号議案関係】

令和3年度 神戸防災技術者の会 予算案
(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

収入の部

(単位:円)

	②R2予算	②R3予算	②-①増減	摘要
総収入	1,331,460	1,211,337	-120,123	
1、前年度よりの繰越金	1,086,460	938,337	-148,123	
2、寄付金等(定例会他)	45,000	45,000	0	5,000×9月
3、伝承活動 修学旅行等学校関係	150,000	150,000	0	
4、伝承活動 職員、自治体、地域団体等	50,000	50,000	0	
5、その他の収入	0	28,000	28,000	県ボランティア助成金

支出の部

	②R2予算	②R3予算	②-①増減	摘要
総支出	1,331,460	1,211,337	-120,123	
1、定例会等 開催経費、講師交通費等	50,000	50,000	0	外部講師交通費(1万円2回、3千円8回)
2、伝承活動 修学旅行経費、出務者謝礼	75,000	75,000	0	座学講師:1万円×1/2 まち歩きガイド:5千円×1/2
3、伝承活動 学校以外地域団体等 同上	25,000	25,000	0	
4、他都市等からの視察対応費	30,000	30,000	0	
5、大災害被災地への義捐金	100,000	100,000	0	
6、シンポジウム開催経費 記録作成費	200,000	200,000	0	
7、大災害被災地 交流費	500,000	500,000	0	
8、雑費、事務費	240,000	150,000	-90,000	携帯電話(34,080)、 集音マイク(60,000) ZOOM利用料(24,000) ボランティア保険 他
9、予備費	111,460	81,337	-30,123	